

科目名 「 障害者歯科学Ⅱ 」

学年	学期	科目責任者
2	後学期	野本 たかと

学習目標 (GIO)	障害者歯科学は、障害児者に対する歯科医療および地域歯科保健によって体型づけられている。障害者の地域生活支援体制が強化されている現在、地域歯科保健活動に携わる歯科衛生士として、障害児者の歯科医療に関わっていく必要がある。そのために障害児者の身体的・精神的・社会的背景ならびにそれらによって引き起こされる行動特性を十分に理解し、個々に適した口腔保健活動を担う歯科衛生士としての知識を修得する。
担当教員	野本たかと、伊藤政之、梅澤幸司、田中陽子、遠藤眞美、井樋加奈子
教科書	最新歯科衛生士教本 障害者歯科 (医歯薬出版)
参考図書	最新歯科衛生士教本 高齢者歯科, 歯科衛生士のための障害者歯科, 新歯科衛生士教本 小児歯科, スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科, 障害者歯科ガイドブック, 有病者・高齢者歯科治療マニュアル (以上全て医歯薬出版), 歯科衛生士のための有病者歯科医療(クインテッセンス出版), 歯科衛生士講座 障害者歯科学 (永末書店)
評価方法 (EV)	原則として定期試験(100%)を評価点とする。定期試験は、各講義担当教員が出題し、その総合評価とする。なお、配点の比重は各講義担当の講義回数に比例する。
学生への メッセージ オフィスアワー	何らかの配慮が必要な人々はこの歯科医療機関でも治療を受ける権利があります。全ての人々が末永く住み慣れた地域でのQOLが保たれた地域での生活を営むことを推奨している現在、すべての歯科衛生士が障害児者の口腔の健康増進を支援する義務があります。講義を介して地域歯科医療における歯科衛生士の役割を十分に認識することを念頭に受講してください。 オフィスアワー：月曜日～金曜日 8:30～17:30 質問があれば研究室に来てください。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 10/2	精神障害と 歯科医療 その1 基本的事項	<p>【授業の一般目標】 精神障害者への適切な歯科医療提供のために必要な基礎的知識を修得する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 精神障害を引き起こす疾患で、臨床上接する機会の多い障害の定義を説明できる - 統合失調症, うつ病, 双極性障害, 気分障害など 2. 精神障害者の置かれた生活・社会環境について説明できる</p> <p>【準備学習項目・時間】 精神障害を引き起こす疾患の原因と、能力・機能障害を説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して精神障害の病態を知り、それによる生活および社会的背景への影響について学ぶ</p>	遠藤

<p>第2回 10/16</p>	<p>精神障害と 歯科医療 その2 口腔の特徴と歯科治療における注意事項</p>	<p>【授業の一般目標】 精神障害者への適切な歯科医療提供のために必要な基礎的知識を修得する 【行動目標 (SB0s)】 1. 精神障害者に認められる口腔の特徴および特異な口腔疾患・口腔機能を説明できる 2. 精神障害者に対する歯科診療上必要な特別な配慮について説明できる 【準備学習項目・時間】 精神障害を引き起こす疾患の原因と、能力・機能障害を説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して精神障害の状態と口腔環境との関係性を知り、歯科診療上必要な配慮について学ぶ</p>	<p>遠藤</p>
<p>第3回 10/23</p>	<p>中途障害と歯科医療 その1 基本的項目</p>	<p>【授業の一般目標】 中途障害や難病により歯科診療上配慮が必要な人々の存在を認識し、基礎的な医学的知識と歯科的対応について修得する 【行動目標 (SB0s)】 1. 厚生労働省指定難病の対象について説明できる 2. よく見られる中途障害の原因とその病態について説明できる － 脊髄損傷, 慢性関節リウマチ, Parkinson病, 脊髄小脳変性症, 筋委縮性軸索硬化症, 高次脳機能障害, 慢性代謝疾患など－ 3. 中途障害や難病の患者の置かれた現状と環境について説明できる 【準備学習項目・時間】 ヒトのライフサイクルと障害の発生について説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して現在の歯科医療の対象者は多種多様であり、歯科医療従事者として必要な医学的知識を学ぶ</p>	<p>梅澤</p>
<p>第4回 10/30</p>	<p>中途障害と歯科医療 その2 口腔の特徴と歯科治療における注意事項</p>	<p>【授業の一般目標】 中途障害や難病により歯科診療上配慮が必要な人々の存在を認識し、基礎的な医学的知識と歯科的対応について修得する 【行動目標 (SB0s)】 1. 良くみられる中途障害や難病における口腔機能の特徴を説明できる － 脊髄損傷, 慢性関節リウマチ, Parkinson病, 脊髄小脳変性症, 筋委縮性軸索硬化症, 高次脳機能障害, 慢性代謝疾患など－ 2. よく見られる中途障害や難病の患者に対する歯科治療における配慮すべき項目を説明できる 【準備学習項目・時間】 ヒトのライフサイクルと障害の発生について説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して現在の歯科医療の対象者は多種多様であるうえ口腔疾患と全身疾患が深い関係があることを認識し、歯科医療従事者として多くの医学的知識を修得した上で口腔保健を担い、健康増進に努める必要があることを学ぶ</p>	<p>梅澤</p>

<p>第5回 11/6</p>	<p>障害児者の 身体・心理発達</p>	<p>【授業の一般目標】 障害児者に対する歯科医療における適切な支援方法を修得するために、基本的な身体・心理発達およびその関連背景を理解する 【行動目標 (SB0s)】 1. 発達段階および発達検査を説明できる 2. 障害児者の歯科診療における問題行動と発達心理の関係性について説明できる 【準備学習項目・時間】 障害とは何か、また障害児者のおかれた社会的環境を説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して障害児者の歯科診療においては治療技術だけではなく、心理学的背景を理解する必要があることを学ぶ</p>	<p>田中</p>
<p>第6回 11/13</p>	<p>歯科診療に対する 行動療法の応用1</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科診療場面における行動療法の意義を理解する 【行動目標 (SB0s)】 1. 行動療法の基礎となる学習理論および行動療法の基本的事項について説明できる 2. 歯科診療に行動療法を応用する意義と基本的な考え方を説明できる 3. 障害児者の行動上の特徴について説明できる 【準備学習項目・時間】 行動観察法の意義と手段を理解し、適切な導入方法を説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して歯科診療場面にみられる障害児者の行動に対する行動療法の適切な応用方法を習得するために、その基礎となる学習理論に基づいた行動療法とは何かを学ぶ</p>	<p>伊藤政</p>
<p>第7回 11/20</p>	<p>歯科診療に対する 行動療法の応用2</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科診療場面にみられる障害児者の行動に対する適切な行動療法の適切な応用方法を修得する 【行動目標 (SB0s)】 1. 薬物を用いない行動調整法について説明できる 2. 薬物を用いた行動調整法について説明できる 【準備学習項目・時間】 障害児者の行動上の特徴を理解し、行動理論に基づいた行動療法を説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して歯科診療場面において障害児者にみられる行動の適切な評価により個々に適した行動調整法を選択する必要があることを学ぶ</p>	<p>伊藤政</p>
<p>第8回 11/27</p>	<p>障害児者に対する 歯科診療への導入</p>	<p>【授業の一般目標】 障害児者が歯科診療を受容できるような適切な導入方法を修得する 【行動目標 (SB0s)】 1. 発達と歯科診療受容について説明できる 2. Foxのgrab bagについて説明できる 3. 歯科診療への導入方法 (オリエンテーション) の意義を説明できる 4. オリエンテーションの計画立案と実際の流れについて説明できる 【準備学習項目・時間】 障害児者の身体・心理発達と行動の関係性を説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介し、障害児者の歯科診療受容に対する支援方法を修得するために必要な行動観察法と適切な導入方法について学ぶ</p>	<p>伊藤政</p>

<p>第9回 12/4</p>	<p>診療補助とFour Handed Dentistry</p>	<p>【授業の一般目標】 障害児者に対する歯科診療時に行う適切な補助方法を修得するために、基礎となるFour Handed Dentistryについて理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歯科医療における人間工学と時間動作効率について説明できる</li> <li>2. 障害者歯科医療に適した診療設備の配置について説明できる</li> <li>3. 障害者歯科医療に適した術者・患者・介補者の位置関係について説明できる</li> <li>4. 障害者歯科医療における適切な器具の受け渡し領域について説明できる</li> <li>5. Four Handed Dentistryを円滑に行うためのコミュニケーション方法について説明できる</li> </ol> <p>【準備学習項目・時間】 障害児者が歯科診療を受容するために必要な支援方法を説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 授業を介して歯科衛生士として障害者歯科診療に携わるうえで必要な診療形態を学ぶ</p>	<p>野本</p>
<p>第10回 12/11</p>	<p>障害者の 歯科治療の特徴</p>	<p>【授業の一般目標】 スペシャルニーズがある人の歯科治療において適切な診療補助を行うために、多く見られる問題点と配慮すべき工夫や対応について理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歯科保存処置における問題点とその対応について説明できる</li> <li>2. 歯周処置における問題点とその対応について説明できる</li> <li>3. 補綴処置における問題点とその対応について説明できる</li> </ol> <p>【準備学習項目・時間】 障害児者の口腔の特徴と歯科治療における注意事項を説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して障害児者における歯科処置の問題点とその対応について理解し、口腔衛生管理の重要性を認識する</p>	<p>田中</p>
<p>第11回 12/18</p>	<p>障害者歯科医療におけるリスク管理</p>	<p>【授業の一般目標】 障害児者に適正で安全な歯科医療の提供をするために、障害児者の歯科診療の場面において発生しうる医療事故、感染拡大などを認識するとともに、リスク管理の重要性を理解し具体的な予防方法について修得する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障害児者に対する歯科診療場面におけるリスク評価方法と安全管理について説明できる</li> <li>2. 医療事故の原因対応予防対策について説明できる</li> <li>3. 歯科診療場面における感染リスクと感染予防対策について説明できる</li> </ol> <p>【準備学習項目・時間】 障害に起因する全身疾患ならびに行動上の特徴を説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して医療事故の発生を伴う可能性が高い障害児者の歯科医療における危機管理能力を修得する</p>	<p>野本</p>

<p>第12回 1/15</p>	<p>障害児者のための 口腔保健</p>	<p>【授業の一般目標】 障害児者の健康増進支援において歯科衛生士として包括的な口腔管理を行うことの重要性を理解し、具体的な計画立案と方法を修得する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 障害児者における包括的な口腔管理(口腔ケア)について説明できる 2. 障害児者の介護者に対する口腔管理指導の意義を説明できる 3. セルフケアとプロフェッショナルケアについて説明できる 4. 障害児者の口腔管理の具体的な計画立案および方法について説明できる</p> <p>【準備学習項目・時間】 障害児者の身体・精神・口腔の特徴、行動の特上、環境について説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して障害児者に対する歯科衛生課程の手法を修得する</p>	<p>井樋 (野本)</p>
<p>第13回 1/22</p>	<p>摂食嚥下リハビリ テーション 障害の病態と回復</p>	<p>【授業の一般目標】 障害児者に対する健康増進支援のための摂食嚥下リハビリテーションの重要性を理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 障害児者における摂食嚥下機能の特徴について説明できる 2. 障害児者に対し摂食・嚥下リハビリテーションを提供する意義を説明できる 3. 障害児者に対する摂食嚥下機能評価方法を説明できる 4. 摂食嚥下リハビリテーション法の実際について説明できる</p> <p>【準備学習項目・時間】 正常な摂食嚥下機能について説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して発達期の障害児者に対する摂食嚥下リハビリテーションの重要性と具体的手法を学ぶ</p>	<p>遠藤</p>
<p>第14回 1/29</p>	<p>障害者地域歯科保 健・医療の提供 その1 基本的事項</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科衛生士として障害者のための適切な地域歯科医療保険ならびに医療の提供が実施できるように基本的な医療システムについて理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 障害者のための歯科医療を提供できる医療機関と場の機能について説明できる 2. 医療連携が必要な障害者とその生活環境・社会環境について説明できる 3. 医療連携について説明できる 4. 訪問診療について説明できる</p> <p>【準備学習項目・時間】 高齢者も含めた障害児者のおかれた社会環境について説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して将来地域歯科医療に携わる歯科衛生士として他業種との連携について学ぶ</p>	<p>梅澤</p>

<p>第15回 2/5</p>	<p>障害者地域歯科保健・医療の提供 その1 保険制度と周術期における医療連携</p>	<p><b>【授業の一般目標】</b>          社会保障制度に基づいた地域障害者歯科保健・医療を適切に提供するための基礎的知識を修得する</p> <p><b>【行動目標 (SBOs)】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障害者の歯科医療におけるニーズとディマンズについて説明できる</li> <li>2. 保険制度と歯科医療サービスの関係性について説明できる</li> <li>3. 周術期における医療連携について説明できる</li> </ol> <p><b>【準備学習項目・時間】</b>          障害者福祉サービスと介護保険サービスの基本的事項を説明できる・60分</p> <p><b>【学習方略 (LS)】</b>          講義を介して障害者歯科医療を提供するための保険制度と周術期における地域の歯科衛生士としての役割を学ぶ</p>	<p>田中</p>
---------------------	---	---	-----------